

福井県立大学の学生に農業の未来をを考えてもらう

大学生に、日本農業の現状・課題や農政の展開について講義し、次の世代の学生に将来の日本農業を語ってもらうとともに、統計の見方についても講義を行った。

○ 施策分類

その他（農地・担い手対策） その他（農村振興）、統計

○ きっかけ・背景、課題の把握

県内の食や農に携わる人材育成の一助となるよう、毎年、学生に対し農業の課題や農政の展開方向及び統計データの見方等の講義を実施している。

○ 取組の内容

令和6年11月26日に福井県立大学創造農学科の学生34名に対し、日本農業の現状や昨今の主要な農政、農林水産省の役割等の講義を実施した。その講義からグループディスカッションにより日本農業の未来を語ってもらった。

また、その他データによる実情を知ってもらうため農林統計の見方についての講義も実施した。

○ 効果・成果、今後の方向性

この取組により、福井県立大学と福井県拠点の官学連携を深めていること。また学生が農業の将来について真剣に考える機会となっている。継続した取組として今後も行っていく。

なお、当講義を受けた学生がその後県拠点をインターンシップ先として希望し来所した。



講義の様子



グループディスカッション

体制図

